

区分	スペック・ <b>試行</b>	担当課	都市整備課
----	-----------------	-----	-------

事業区分	道路	取組項目	魅力ある植栽空間をもった道路整備
現状・問題点・背景			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般的に現在の植樹帯は幅が狭いこともあり、維持管理上からも街路樹はみじかめに剪定せざるをえない。</li> <li>・ そのため、本来、街路樹が持つ美しい景観の創造や歩行者が安らぐ緑豊かな空間の創造といった機能が十分に発揮されていない。</li> </ul>			
取組項目の内容			
<p>以下の項目を参考に、現場ごとに可能かつ効果的な取り組みを行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余裕のある植樹帯または歩道の設置</li> <li>・ 設計時における将来的な樹形（景観）の検討や樹種選定、それらを考慮した植栽間隔</li> <li>・ 住民の意見を参考にした街路樹の選定または日常的な維持管理における住民協力</li> <li>・ 緩衝緑地帯の設置</li> <li>・ 植栽する土を立体的に盛り上げるなど、視覚的なボリューム感の創出 など</li> </ul> <p>〔検討すべき対象エリア〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植樹帯を有する新たな道路整備</li> <li>・ 街のメインストリート、シンボルロード</li> <li>・ 既存の街路樹管理の再検討 など</li> </ul>			
取組項目の効果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通行者や沿線住民の対する癒し空間の提供</li> <li>・ 街路の維持管理に対する住民の理解</li> <li>・ 街（ストリート）の魅力向上や地域活性化の支援</li> </ul>			
イメージ（コンセプト）			
			
<p>植栽デザインには、景観に配慮した歩行者にも優しい配置やバランス、連続性が大切です。樹種による特性や将来の樹形等を考慮した植栽を。</p>			